

①人が集まる場の前後も含めた適切な感染予防対策の実施 密閉回避策

ア 競技会場における取り組み

- ・ 1 試合ごとにインターバルを設けて、外気を取り入れた換気を実施する。
- ・ 複数のコートで試合を同時進行する場合は、窓を全開にして競技を行う。

イ 更衣室における取り組み

- ・ 更衣は最短時間で済ませ、更衣が行われない時は常に更衣室の窓を開放して換気を行うようにする。

ウ 控室における取り組み

- ・ 1 時間ごとにインターバルを設けて、外気を取り入れた換気を実施する。
- ・ 可能な限り窓を全開にしておく。

②密閉空間・密集場所・密接場面などクラスター（集団）感染発生リスクが高い状況の回避 密集回避策

ア 移動時における取り組み

- ・ 集合時間に差を設ける。

イ 会場内における取り組み

- ・ 開会式、閉会式は行わない。
- ・ ベンチに入れるのは選手 15、コーチ 1、A コーチ 1、マネージャー1、トレーナーの 19 名とする。
- ・ ベンチ外のメンバーは各校 15 名程度とし密にならないようにする。ただし、入間市民体育館、本庄市総合体育館の人数については、体育館の担当者と協議の上、決定する。
- ・ 鳴り物や大きな声を出しての応援は禁止とする。
- ・ 保護者は入場させない。
- ・ 更衣室の使用は競技終了後のみとし、1 回あたりの入室人員は定員の 50 パーセントまでとする。
- ・ フロアには当該試合に関係するチームのみ試合直前に入場させることとし、試合終了後は速やかに退場させる。
- ・ ハーフタイムのコートを使ったウォーミングアップは禁止とする。
- ・ 試合に出場していないプレイヤーはマスクを着用する。コーチ、A コーチ、マネージャー、トレーナーも同様とする。

③ 密接回避策

- ・ 選手用ベンチ、本部役員席は 1 m 以上間隔を空けて配置する。
- ・ マスクの着用を含めた咳エチケットの取り組みを徹底させる。

④ 熱中症予防対策

- ・ 特になし